

富士山四合目・五合目グランドデザインの概要

＜策定の背景と目的＞

- かつて、富士山有料道路(富士スバルライン)四合目・五合目及びその周辺地域は、中道巡りなど、富士山信仰の拠点でした。
- 現在は、国内外から多数の人々が利用する観光地・登山拠点となっていますが、富士山信仰の拠点であった歴史や文化が認識しにくくなっているのが現状です。
- また、富士山の世界遺産登録に際し、イコモスから「富士山信仰のための登山道には、調和のとれた来訪者施設が必要。吉田口登山道においては、五合目の諸施設について意匠の改善が必要。」と指摘されています。



- こうした状況を踏まえ、四合目・五合目のあるべき姿をグランドデザインとして描くこととしました。

＜計画の内容＞

- 中長期的な視点から目指すべき将来像・基本目標と、その実現に向けた段階的な取組方針を示す

＜対象範囲＞

- 富士山有料道路(富士スバルライン)五合目～奥庭～四合目駐車場(大沢駐車場)とその周辺地域
※本計画では、断りのない限り、富士山有料道路終点及びその周辺を「五合目」、同道路四合目大沢駐車場、奥庭とその周辺を「四合目」と称します。

＜法規制等の状況＞

- 五合目：国立公園(特別保護地区、第2種特別地域)、特別名勝(B地区)
- 四合目：国立公園(第1種特別地域)
- 御庭・奥庭：国立公園(特別保護地区)、特別名勝(A地区)

＜四合目・五合目地域が有する要素＞

- 信仰・文化に関わる要素
 - ・御中道(富士講の修行の場)、富士講ゆかりの石造物
 - ・小御嶽神社、登拝(登山)道 等
- 自然・景観に関わる要素
 - ・山頂の展望、周辺山岳や山麓などの眺望、御来光や雲海などの風景
 - ・亜高山帯の植生、火山性地質(火口列、溶岩流) 等
- 来訪者支援に関わる要素
 - ・インフォメーションセンター、救護所、トイレ等の支援施設
 - ・登拝(登山)支援物資等の販売、ガイド活動 等



四合目・五合目のあるべき姿（将来像と取組方針）

＜基本理念＞

ここを訪れる人々が国籍や宗教観を超えて等しく富士山に向き合い、その神聖さや美しさに感動できるとともに、安心して、何度も訪れたくなる、世界遺産にふさわしい空間の実現

＜将来像と取組の基本方針＞

将来像①：神聖さ・美しさが感じられる場の形成

- 五合目の神聖な雰囲気醸成
 - 信仰・文化エリアと来訪者支援エリアの物理的・視覚的な区分
 - 山体や御来光などの視点場の確保・整備
- 世界遺産にふさわしい上質な空間の形成
 - 建築物や屋外広告物等における景観配慮の推進
 - 道路施設や各種工作物における景観配慮の推進



将来像②：充実感・満足感が得られる場の形成

- 上質な利用体験の提供
 - 四合目～五合目（～山麓）の周遊性の向上
 - 富士山の多様な魅力の紹介と上質な利用体験機会の増進
- 多様な来訪者への配慮
 - 様々な来訪者に配慮した情報提供・案内の推進
 - サービスや利用マナーの向上



将来像③：安心して訪問・滞在できる場の形成

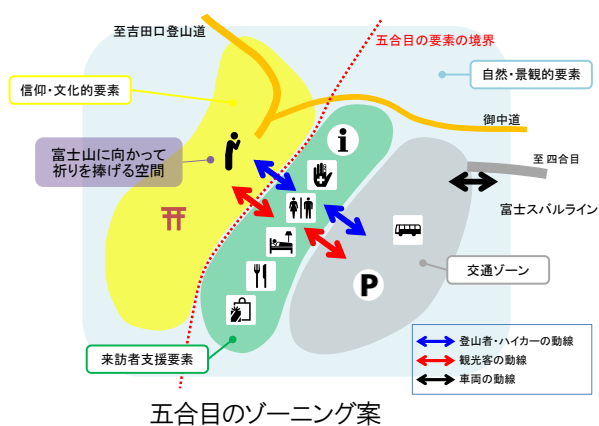
- 自然災害への備えの強化
 - 避難誘導體制の強化
 - 緊急時の情報収集・伝達体制の整備
- スムーズで安全な利用動線の整理
 - 歩行者に配慮した利用動線の検討
 - 円滑な歩行動線・誘導のあり方検討



短期的取組 ～将来イメージの具体化に向けた検討～

〔五合目の将来的な空間構成・施設配置等の検討〕

五合目が信仰の場であることが容易に認知されるよう、「信仰や文化に関するゾーン」、「来訪者支援ゾーン」及び「駐車場」を、物理的あるいは視覚的に分離するなど、長期的に実現を目指す「五合目エリアの将来的な姿(施設配置、施設等のデザイン、実施時期等)」を関係者で協議します。



将来イメージ①

- 地形の高低差を活かし、売店等をコンパクトに移転集約
- 「信仰・文化ゾーン」と「来訪者支援ゾーン」の境界を明確化



将来イメージ②

- 現況の土地利用を活かしながら、建物の高さを抑制
- 人や車の動線変更により、富士山の信仰・文化を感じられるよう工夫

※将来イメージ①、②は
具体案ではなく、理念
を具象化した整備イメ
ージの例です。

その他の短期的取組

短期的取組① 諸施設の意匠改善

◆建築物や広告等の意匠改善(景観形成)

- ・統一的な雰囲気醸成に向けた建築意匠(デザイン、色彩・素材等)等のルールづくりの検討
- ・歴史・文化的要素を考慮した施設デザイン等の検討
- ・屋外広告物等の、より一層緻密な景観配慮の促進 等



修景イメージ2-1: 外壁・屋根の色の変更(自然の基調色)



既存建築物の修景イメージ(例)

◆道路施設等の意匠改善(景観形成)

短期的取組② 情報提供・サービスの充実強化

◆上質な利用体験機会の増進

- ・各利用拠点における情報提供の充実強化
- ・提供サービスや利用マナーの向上 等
- ・様々な利用体験の場の整備と機会提供

◆多様な来訪者への配慮の推進

- ・適切な多言語対応の検討
- ・来訪者支援サービスの質と、利用マナーの向上 等
- ・行動起点や駐車場等への標識類の配置検討

短期的取組③ 避難誘導体制の強化

◆自然災害等に備えた来訪者の避難対策の強化

- ・観光客や登山者の避難対策の推進
- ・具体的な避難ルート・避難手法の検討 等

◆災害関連情報の収集及び伝達体制の強化

富士山四合目・五合目グランドデザイン (平成28年3月)

山梨県知事政策局富士山保全推進課

(※平成28年4月より「山梨県県民生活部世界富士山課」)

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1 TEL 055-223-1330 FAX 055-223-1781